

御食国若狭おばま食文化館

御食国若狭おばま食文化館は小浜市の食を中心としたコミュニティの発展という目的のため、2003年9月にオープンしました。1階の展示では日本食のフードレプリカを、特に郷土料理と食の歴史を中心に展示しています。また「鯖街道」ゲーム、伝統的な町人住居を再現したモデルルーム、それから訪問者が日本料理を作って試食できるキッチンスタジオもあります。伝統工芸をテーマにした2階の若狭工房では、訪問者は和紙、若狭塗箸、食品サンプル、めのう細工の製作体験に参加することができます。地元の職人が仕事をしているところを間近で見ることができ、隣のギフトショップでそれらの工芸品を購入できます。隣接する建物には若狭小浜の料理が楽しめるレストラン「濱の四季」があります。食文化館の3階には若狭湾を一望しながら大浴場に浸ることができます。漢方風呂と海草風呂が地元の住民に人気で、総合的な健康の促進に役立ちます。入れ墨、タトゥーのあるお客様は入浴施設をご利用できないことをご了承ください。

食文化館では、食文化に対して全方位的なアプローチを取っています。地産品の消費を促進し地域の漁業や農業を支援することで、河川や海などの貴重な天然資源の保全を奨励しています。食文化館はまた、全年齢向けに食育と料理教室を提供しています。学童たちは、しばしば食文化館を訪れて魚のさばき方や和食の作り方のような食文化を学んでいます。料理教室では、地元の食材を使って健康的でバランスの取れた栄養価の高い食事を調理するという食のリテラシーに重点が置かれています。地元の食の伝統を守り若い世代を啓蒙していくことで、市はかけがえのない郷土料理の未来の確保を願っています。